

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	あり
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	現代舞踊
----	----	----	------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんにほんふらめんこきょうかい 一般社団法人日本フラメンコ協会		団体ウェブサイトURL https://www.anif.jp/ <input checked="" type="checkbox"/>
代表者職・氏名	会長 小林伴子		
制作団体所在地	〒 164-0001	最寄り駅(バス停)	JR中野/東京メトロ東高円寺
	東京都中野区中野3-3-6セルバビル2階		
電話番号	03-3383-0413		
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんにほんふらめんこきょうかい 一般社団法人日本フラメンコ協会		団体ウェブサイトURL https://www.anif.jp/ <input checked="" type="checkbox"/>
代表者職・氏名	会長 小林伴子		
公演団体所在地	〒 164-0001	最寄り駅(バス停)	JR中野/東京メトロ東高円寺
	東京都中野区中野3-3-6セルバビル2階		
制作団体 設立年月	1990年7月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	理事長 鍵田真由美、副会長 石井智子ほか3名、専務理事 伊集院史朗、常任理事 有田圭輔ほか5名、理事 鈴木敬子ほか20名、事務局長兼任理事 瀬戸雅美、監査役 山田宏敬		理事30名、特別正会員53名(職業実演家として優れた技能と実績があり、理事2名以上からの推薦と理事会での承認を得た者)、会員820名(職業実演家120名程度、実演家志望100名程度、愛好家600名程度)
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	瀬戸雅美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	望月素子(日本フラメンコ協会) 亀村彩(山田宏敬税務会計事務所) <input type="checkbox"/>
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	flamenco@anif.jp <input checked="" type="checkbox"/>		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>1990年 日本フラメンコ協会設立 1991年 基幹事業「フラメンコ・ルネサンス21」開始(以後1995年、2020年を除き毎年開催) 2000年 設立10周年記念フェスティバル開催 2002年 日本芸能実演家団体協議会加入 2005年 ANIFセンター設立 2007年 文化庁在外研修推薦団体となる 2008年 アンダルシア・バイレフラメンコ博物館 (Museo del Baile Flamenco)と協定締結 2011年 設立20周年記念公演開催 2013年 一般社団法人 日本フラメンコ協会設立 2014年 現代舞踊協会との共催公演開催・ 第1回日本カンテ・デ・ラス・ミナス音楽祭開催 2016年 第2回日本カンテ・デ・ラス・ミナス音楽祭開催 2020年 設立30周年記念公演は緊急事態宣言発令により中止、SNSおよびリモート企画を開始 2021年 初代会長:濱田滋郎氏、初代事務局長:田代淳氏 逝去(3月) 新会長:三澤勝弘、新事務局長:瀬戸雅美 就任(4月) 2022年 AFF2補助事業「FLAMENCO GALA」東京/大阪を開催(12月) 2023年 フラメンコ協会作品「フラメンコのちから」初演(3月) アートキャラバン2補助事業「フラメンコのちから」全国公演開催(12月～24年1月) 2024年 新会長:小林伴子、新理事長:鍵田真由美 就任(6月) 学校巡回公演「フラメンコのちから」を実施予定(9月～25年1月)</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>※直近10年程度に限っての、当会理事における学校等における公演およびワークショップの実績です</p> <p>2002年～現在(2020～2023年は中止) 新潟県上越市・上越文化会館主催の学校公演にて、市内小学校(上杉小学校、南川小学校ほか)において、毎年、フラメンコ公演やワークショップを実施/ 鈴木眞澄(日本フラメンコ協会 専務理事)、鈴木英夫(同 理事)、有田圭輔(同 理事) ※別添1 2011年より 東京都中央区立幼稚園・小学校で、子供たちがスペインの文化芸術に触れ芸術性を育む機会として、レクチャー、舞踊、体験などを入れた「国際理解教室」「オリンピック・パラリンピック教室」を、泰明小学校、日本橋小学校など、延べ14の幼稚園・小学校で実施/ 石井智子(同 理事) 2019年11月 横浜市立西寺尾第二小学校の3、4年生を対象に、ギター、カンテ(歌)と踊りのフラメンコワークショップを6名体制で実施/ 手塚真智子(同 理事) 2023年2月 福井県鯖江市立待小学校にて、フラメンコワークショップを実施/ 佐藤浩希(同 理事) 2023年3月 小中高生100名を「フラメンコのちから」初演(東京都中野区 なかのZERO 小ホール)に無料招待/ 日本フラメンコ協会 2024年1月 千葉県館山市の小中学生1,000名を「フラメンコのちから」館山公演(南総文化ホール 大ホール)に招待/ 日本フラメンコ協会 2024年9月～25年1月 令和6年度学校巡回公演「フラメンコのちから」秋田県鹿角市立花輪小学校、青森県八戸市立田面木小学校、岩手県立盛岡視覚支援学校で実施予定/ 日本フラメンコ協会</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>団体として特別支援学校等における公演実績はなく、本事業を通じてその機会に巡り会うことを強く希望しております。</p> <p>(令和6年度学校巡回公演「フラメンコのちから」では 岩手県立盛岡視覚支援学校にて24年12月にワークショップ、25年1月に本公演を実施予定)</p> <p>※ なお、本公演の振付演出、ならびに、ワークショップの代表監修者である佐藤浩希(理事)においては、介護福祉士および保育士として障害者の介護に従事していた経歴を有します。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtube.com/playlist?list=PLDZS1UyNZPeto5WnpGU22zJsludw3KImO&si=oswwFmiKySgCkS_h</p>		
<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>	
<p></p>	<p>PW:</p>	<p></p>	

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	「フラメンコのちから」			
企画のねらい	フラメンコには、年齢、性別、国籍、プロ・アマ、観る者・演じる者といったあらゆる垣根を超えて、すべての人々にポジティブなエネルギーを伝える力があります。その発祥地であるスペインに次いで、日本は、世界第2位のフラメンコ愛好家人口と、世界水準の実力を備えたアーティストを有する“フラメンコ大国”であることをご存知でしょうか？「踊り(バイレ)」、人の声＝「歌、掛け声(カンテ、ハレオ)」、ギター、そして、単なる拍手とは異なって、楽器としての役割を果たす「手拍子(パルマ)」による生演奏で上演されるフラメンコは、舞踊(視覚)と音楽(聴覚)の総合芸術といえます。児童・生徒のみなさん、そして共に鑑賞される先生や保護者の方に、「生きるって素晴らしい」という感動と、強いカタルシス(精神の浄化)を感じていただくことが、私たちの願いであり、目指すところです。			
演目概要・演目選択理由	演目概要: 日本のフラメンコ界を名実ともに代表する3世代のアーティストが、出身や門下の違いを超えて、まさに“オールスター”キャストで出演するフラメンコ史上類のない作品です。振付演出は、自身の舞踊団での活動に加えて、歌舞伎、宝塚、吉本少女歌劇団、映画などのフラメンコ・シーンの振付を手がける佐藤浩希氏によるもので、フラメンコの伝統的な演目を、そのパッションを存分に感じながら総覧できるプログラムです。／選択理由:この作品が、フラメンコの「本質」を伝えるものだからです。フラメンコの歌や踊りを通じて表現するのは、生きていけば誰もが逃れられない苦しみや悲しみ、それでも生きているからこそ感じられる楽しさや喜びです。懸命に歌い踊る仲間に、手拍子や掛け声で共感を示しながら「Ole(オレ)！」と讃えあうことを大切にしているフラメンコを鑑賞することは、児童・生徒の感受性、共感性、想像力、そしてコミュニケーション能力を豊かに育むことに直結すると考えます。また、この本質をお伝えするために必須の技術・表現力を有した超一流のキャスティング、フラメンコを熟知したスタッフによって「劇場」公演さながらの圧倒的な感動を呼び起こします。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<ul style="list-style-type: none"> ・フラメンコの歴史や成り立ちを解説し、「ハレオ(掛け声)」の掛け方を実践をレクチャーします (イントロダクション) ・演目の冒頭または合間に、舞踊家たちの身支度(フラメンコに特有の衣装や髪飾り、アクセサリを身につけていく様子)をみせる演出を行います。この後に共演する代表生徒には、実際のフラメンコ衣装を着用する体験をしていただきます ・ワークショップに参加の児童・生徒の代表者が、舞台でのパフォーマンス(踊りと歌)に参加、キャストとの共演シーンです ・ワークショップに参加していない児童・生徒、先生方もその場で参加できるようなガイドを行います (フィナーレ) 			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	35名程度	
		鑑賞人数目安	350名程度	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>0. イントロダクション:フラメンコの歴史と成り立ち、その魅力や楽しみ方についてのお話です。</p> <p>1.「アレグリアス」苦しいときもある。悲しいときもある。それでも生きているからこそ“喜び”(Alegria)がある。はつらつと華やかに、フラメンコ特有の12拍子のリズムに乗って！</p> <p>2.「ティエントス」本場スペインに次ぎ、世界で2番目にフラメンコ愛好家が多い日本。その礎を築いてきた重鎮世代から受け継がれてきたフラメンコの粋を披露します。</p> <p>3.「シギリージャ」日本フラメンコ界の最前線で活躍する中堅世代。最高水準の技術と経験で、難曲といわれる変速5拍子を命がけで踊ります。男性舞踊手の足技に注目！</p> <p>4.「ルンバイブレリア」フラメンコ界の未来を担う新進世代の登場！クールなギタープレイ、旬の身体能力を発揮した全開のパッションは、観る者を圧倒します。</p> <p>5.「カーニャ」舞踊家キャスト総出演。愛と敬意と祈りを込めて、あらゆる生命を讃えます。</p> <p style="text-align: right;">公演時間 75 分</p>			
出演者	<p>●舞踊家 [重鎮] 齋藤克己 渡邊薫 鈴木真澄 手塚真智子 [中堅] 伊集院史朗 鍵田真由美 三枝雄輔 佐藤浩希 三四郎 鈴木敬子 [新進] 荒濱早絵 川松冬花 佐藤陽美 中里真央 脇川 愛 (以上、本作品レギュラーキャスト)に加えて、オーディションにより選出する舞踊家より 計16名</p> <p>●音楽家 [ギター] 北岸麻生 加藤凜 [カンテ(歌)] 石塚隆充 (以上、本作品レギュラーミュージシャン)ほか、オーディションにより選出する音楽家より 計4名</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>●演出・振付家、舞踊家 佐藤浩希:フラメンコ舞踊・振付・演出家。鍵田真由美と共にアルティソレラ舞踊団を主宰。2004年『ARTE Y SOLERA 歓喜』で文化庁芸術祭大賞受賞。同年、日本人として初めて、スペインのフェスティバル・デ・ヘレスに招聘される。2018年「Ay曾根崎心中」で当時の天皇皇后両陛下の御臨席を賜る。歌舞伎、宝塚、日本フラメンコ協会作品等における振付・演出での活躍ぶりもめざましい。</p> <p>●演奏家 石塚隆充:音大の音楽科に在籍しながらのフラメンコギター修行中に、カンテ(歌)に出逢う。独学で歌い始めた2年後の1997年に日本フラメンコ協会「新人公演」奨励賞を受賞。翌年からスペインに渡り、本場で学びながら歌手活動を重ね、通算8年を過ごす。帰国後は、他ジャンルの一流音楽家との共演も重ねて活躍の幅を広げ、日本を代表するフラメンコ歌手としてのみならず、作詞・作曲、舞台の音楽監修等も務めている。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 20 名	運搬	積載量: 2 t	
	スタッフ: 24 名		車長: 7 m	
	合計: 44 名		台数: 2 台	

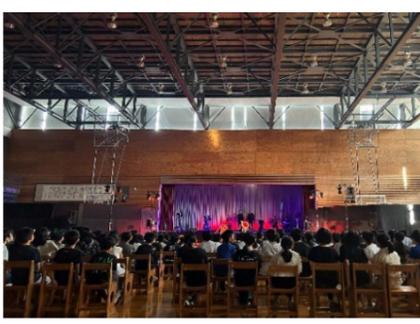
本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	9:00-12:00	13:30-15:00	15分	15:00-17:00	17:30

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月
			5日	15日
	10月	11月	12月	1月
	15日		20日	20日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続きの要 否	該当なし	該当コンテンツ名	
	※直近10年程度に 限っての、当会理事 における学校等にお	権利者名	許諾確認状況	内部保有

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】

ワークショップのねらい	<p>▷ フラメンコは、感情豊かで、情熱的かつ繊細な芸術であり、自己表現の手段として、とても優れたものです。ワークショップを通じて、参加者は自分の感情をあらわす表現力や、そこから生まれる創造性を養うことができます。</p> <p>▷ フラメンコは、技術の優劣や容姿の美醜ではなく、一人ひとりの存在そのものや、固有の表現を互いにリスペクトしあう(Olé と称え合う)ことを本質としています。一人ひとりが違うからこそ素晴らしいという多様性を、あたりまえのものとして受け止められるようになります。</p> <p>▷ フラメンコは、独特で複雑なリズムパターンを持ち、この音楽とダンスを組み合わせることで体験することにより、未知のリズムに触れる楽しみや体を動かす喜びを味わい、「リズムやメロディにあわせて踊りたい」という人間の根源的な欲求を、ためらいなく、ごく自然に感じることができます。</p> <p>▷ フラメンコは、その発祥地であるスペインはアンダルシア地方の文化や、ルーツである北インド、アラブ・イスラム文化、ユダヤ文化とも関連しており、このワークショップを通じて、外国の異文化に触れ、興味を抱く機会が提供されます。自国の文化との共通点や相違点を見つける、比較文化の観点から、国際社会への広い視野を養います。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	80～100名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>1. 「フラメンコって、何?」〈レクチャー形式〉</p> <p>(1) 日本はフラメンコ大国?!その歴史と成り立ちを知る 19世紀(いまから200年ぐらい前)にスペインで生まれたフラメンコが、ここ日本で始めて上演されたのは、20世紀になってから(100年ぐらい前)のことです。ところが、現在の日本には、本場スペインに次いでたくさんのフラメンコ愛好家がいる(なんと、世界第2位)、スペインでも一目置かれるレベルの世界基準で活躍するアーティストもいます。地球の裏側ともいえるほどに遠い国の音楽や踊りに、なぜこれほど多くの日本人が好きになって(ハマってしまう)のでしょうか。その秘密は、フラメンコ歴史や成り立ちの中に隠れているかもしれません。その昔、迫害を受けた“ヒターノ”(“ロマ”)が、つらい生活の中で嘆きや苦しみを歌で表現したことにその起源があるといわれるフラメンコ。人々が生きぬく“ちから”となったフラメンコは、今ではスペインが世界に誇る芸術となっています。※ユネスコの世界無形文化遺産に登録されている</p> <p>▷ 画像、映像、実演、クイズなどの対話を交えながら、フラメンコについてのさまざまな知識を楽しく学び、その成り立ちを知ります。</p> <p>▷ 舞台に立つ際のフラメンコに特有の衣装、靴、小道具、女性のヘアメイクやアクセサリーなど、舞台芸術において大切な身だしなみについても学びます</p> <p>2. 「フラメンコに、挑戦!」〈実践形式〉</p> <p>(1) フラメンコのノリを感じて、表現して、踊ってみよう!「ブレリアス」 12拍子の変拍子!?!「トーマッサイトーマッサイトーマイトーマイト」のリズムに合わせて、もっともフラメンコらしい「ブレリアス」という曲形式の、1手拍子「パルマ」、2掛け声「ハレオ」、そして、3踊り「バイレ」に挑戦してみよう!自分の声や体でいろいろな音を出して発信できる、いわば、人間一人ひとりが芸術作品となる文化、それがフラメンコです。</p> <p>(2) 日本語のフラメンコを、歌ってみよう!「セビジャーナス」フラメンコの歌は、スペインの南部にあるアンダルシア地方の方言/訛り(なまり)=自分たちにとってもっとも自然なことばで歌われます。人はその唄を聞いて、自然と踊り出します。日本人のアーティストの中には、私たちが普段から会話したり、ものを考えたりするときに使っている「日本語」で歌うフラメンコの曲をつくって歌っている人もいます。みなさんも一緒にうたってみましょう。</p> <p>▷ 以上のプログラムから、参加児童・生徒の学年に応じた、理解度や身体能力にあわせて、講義/実践します。 ▷ 基本プランとしては、1時限目に1.(1)をレクチャー形式で、2時限目に2.(1)(2)の両方もしくは片方を実践形式で実施するのを基本としながら、参加児童・生徒の「できること」「興味」に応じて、時間配分を工夫・調整変更します。▷ なお、本公演においては、2.(1)1.2.は全員、3.および(2)については代表児童・生徒がこれを披露します。(2)については、復習用の音源や動画を用意します。</p>		

<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>フラメンコは、音楽と舞踊の総合芸術であることから、リズム、手拍子、足踏み、ダンス、掛け声、歌 ... 自分の体や声をつかって、実にさまざまな楽しみ方でこれを体験することができます。</p> <p>小学校低学年から中学生(そして先生まで)どんな年齢や状態の人でも、広く参加の可能性があります。また、障害のある児童・生徒にも、さまざまな参加の方法を考案することが可能です。(特別支援学校、聾学校、盲学校においては、事前に普通の授業の様子を伺い、その障害の種類や程度に寄り添う形でのご提案をいたします)</p> <p>一人ひとり違う存在であるすべての児童・生徒に、自己の感情を表現する、肯定的で充実感のある経験をしていただくために、プロフェッショナルとして、また、心を込めて指導させていただきます。</p>
----------------------------	---

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

一般社団法人日本フラメンコ協会

】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>私たち、日本フラメンコ協会 (Asociación Nipona de Flamenco / 通称ANIF) は、日本のフラメンコ芸術の普及振興及び向上発展に寄与することを目的に1990年に誕生し、2002年に芸団協に加盟、2013年には一般社団法人となった、日本のフラメンコ芸術の統括団体です。</p> <p>令和6年度に、初めての応募・申請を経て、採択をいただきました。</p> <p>本公演およびワークショップの内容欄に記載のとおり、フラメンコの本場スペインに次いで、我が国が世界第2位のフラメンコ愛好家人口や世界レベルのアーティスト(舞踊家、音楽家)を有するようになったことに比例して、次第に当会の果たすべき役割も大きくなり、特に、先のコロナ禍中から、統括団体団体としてこれまでにない新たな取り組みへの挑戦を重ねてきました。日本を代表する舞踊家や演奏家で構成されるカンパニーを、直属の形で結成・始動させたことも、その取り組みの最たるひとつです。</p> <p>我々にとって、「子供たちの豊かな創造力・想像力や、思考力、コミュニケーション能力などを養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的」とする、この学校巡回公演事業の実施団体となることは、当会、そして業界をあげての悲願でした。</p> <p>昨今、さまざまな団体や個人による、小中学校でのフラメンコライブやワークショップそれ自体は、全国各地でさまざまな形で開催されています。フラメンコという、魅力と力に溢れる芸術を普及推進することを目指す当会にとってそれはとても喜ばしいことです。しかしながら、学校公演の“最高峰”ともいえる本事業において求められる質の高さや規模にふさわしい舞台制作、作品提供、そしてキャストイングによって、真に質の高いフラメンコ芸術を鑑賞・体験していただく機会を提供できるのは、当会以外にはないと自負しています。</p> <p>我が国のフラメンコを黎明期から支えてきた実演家や指導者たちが理事を務めながら、業界のプロフェッショナルの登竜門である「新人公演」を通じて優れたアーティストを輩出してきた当会には、それを担う「使命」があると考え、次年度も引き続きの採択を目指し、応募に至りました。</p> <p>全国の小学校・中学校等において巡回公演を行うことを通じて、「将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進すること」に貢献し、あわせて、すべての人々にポジティブなエネルギーを伝える「ちから」をもつ、フラメンコの魅力を広く伝え、その普及と振興をはかりたいと強く願っております。また、初年度の経験や反省を生かし、よりよい実施・上演を目指して参ります。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>日本フラメンコ界の全体を「統括」する団体として、国内のトップレベルのアーティスト(舞踊家、音楽家)を偏りなく、フラメンコの舞台設営や学校巡回公演の経験が豊富な専門スタッフを厳選して、安定的に派遣することができます。これにより、質の高いワークショップと本公演を継続的かつ効果的に実施することができます。</p> <p>実施にあたっては、各学校の事情や児童・生徒および教職員の皆様の希望を事前に伺い、できる限り円滑に実施できるよう、配慮いたします。</p> <p>随時、学校や関係者の皆様からのフィードバックを受け、より効果的で円滑な実施のために改善を継続します。</p>
--	---

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.1

【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】

項目内容

アウトリーチ「フラメンコ」実績

年度	会場	人数
平成18年	上越市立南川小学校	250
	上越市立上杉小学校	150
	平山・天王町町内会	90
平成19年	新潟県立高田養護学校	150
	上越市立宝田小学校	180
	あけぼの町内会	60
平成24年	上越市立三軒小学校	100
	上越市立下保倉小学校	70
	名立田野上町内会	40
平成25年	上越市立吉川小学校	280
	上越市立古城小学校	80
	五智6丁目町内会	80
平成27年	高田特別支援学校	220
	上越市立上下浜小学校	130
	下百々町内会	60
平成28年	上越市立南川小学校	280
	上越市立八千浦小学校	220
	清里区町内会	50
平成29年	上越市立直江津南小学校	350
	上越市立柿崎小学校	290
	針町内会	80
平成30年	上越市立大島小学校	50
	上越市立有田小学校	600
	春日野町内会	40
平成31年	上越市立春日新田小学校	386
	上越市立宮嶋小学校	70
	赤野保町内会	120

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人日本フラメンコ協会】
------	------	-------------------------

本公演で上演する「フラメンコのちから」

[初演] 2023年3月 なかのZEROホール
(日本フラメンコ協会主催「第11回アニフェリア フラメンコの祭典」)

[再演] 2023年12月 仙台市民会館、札幌共済ホール、富山オーバード・ホール、2024年1月 阿南市文化会館、クレオ大阪中央ホール、南総文化ホール
(日本フラメンコ協会主催/文化庁アートキャラバン2「フラメンコのちから」)

[再演予定] 2025年3月 なかのZEROホール
(日本フラメンコ協会 主催/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(芸術家等人材育成))独立行政法人日本芸術文化振興会 助成 「新進フラメンコ芸術家等育成事業 ANIFUTURO 2024」成果発表)

項目内容

